

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会オープンラボシンポジウム 2025 「スマートファクトリーが拓く未来のモノづくりを展望する」の開催結果

【開催概要】

2026年1月26日(月)、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 オープンラボシンポジウム 2025 を Blooming Camp by さくらインターネット(大阪市北区)にて現地開催するとともに、オンライン配信によるハイブリッド形式で実施した。本シンポジウムは、協議会の取り組みや研究成果の報告・広報に加え、企業、大学、行政、産学官連携関係者との交流や情報交換、さらに ICT の研究開発活動に関する普及・啓発を目的として、毎年開催している。

本年度は、近年取り組んできた「モノづくり」を取り上げ、「スマートファクトリーが拓く未来のモノづくりを展望する」をテーマに掲げ、最新事例・導入効果・課題などを共有するため、3つの講演と、協議会の2つの研究WGの活動報告、さらに全WGのパネル展示で構成した。

講演およびWG活動報告での質疑応答では、現場におけるデータ取得の課題や応用事例、今後の展開などについて幅広い議論が交わされた。また、シンポジウム後の交流会では、講師の皆様を交え、今後のWG活動の連携などについて活発な意見交換が行われ、全体として充実したシンポジウムとなった。本シンポジウムを通じて得られた知見や議論を今後のWG活動に反映し、産学官連携による研究開発および社会実装のさらなる深化につなげていく。

【参加状況】

当日の参加者は99名(現地参加60名、オンライン39名)、交流会参加者は32名であった。また、参加者の内訳をみると、約1/3が一般からの参加で、特にオンライン参加者の半数以上が一般からであった。

	事前登録	当日出席数
現地参加	69	60
オンライン参加	41	39
交流会	35	32
参加者合計	110	99

【各プログラムの実施状況】

●開会挨拶



協議会 理事長 小林 充佳
(NTT西日本株式会社 相談役)

●講演1

「サントリー大阪工場のものづくり技術～『新スピリッツ・リキュール工房』建設プロジェクト～」

講演概要: 最新鋭工房におけるモノづくりの特徴、ロボティクス技術、自動化技術の適用範囲拡大、工程展開の将来展望を紹介。



サントリー株式会社 大阪工場
技師長代理
高橋大輔 氏

●講演2

「デジタル技術を活用した持続的な成長に繋げるものづくりDX のあり方」

講演概要: オムロンにおけるシミュレーションやAI等のデジタル技術の活用事例、現状の課題認識、および今後の展望について



オムロン株式会社 技術・知財本部
デジタルソリューションセンタ長
土屋直樹 氏

●講演 3

「スマートファクトリーにおける無線通信技術の利用に向けて」

講演概要:Flexible Factory Project(FFPJ)の最新状況、スマートファクトリーにおける無線通信の最新事例および無線通信技術の利用に向けての課題について紹介



情報通信研究機構 ダイバーシティ推進室 室長、
ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター 研究マネージャー
板谷聰子 氏

●WGの活動説明



協議会 運営・研究部会長 内元 清貴
(情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 所長)

●WG活動報告1 「モノづくりDX準備WG」

「匠技術の可視化による、未経験者へのDX 作業支援方法の提案」



モノづくり DX 準備 WG 主査 才木 常正
(福知山公立大学 情報学部 教授)

●WG活動報告2 「遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装WG」

「けいはんな万博2025と遠隔操縦ロボット」



遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装
WG 主査 浅見 徹
(特定非営利活動法人けいはんなアバターチャレンジ 理事長)

●閉会挨拶

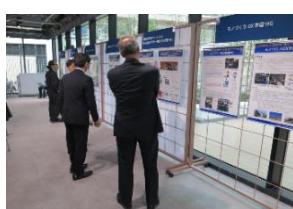


協議会理事 野水 学
(総務省 近畿総合通信局 局長)

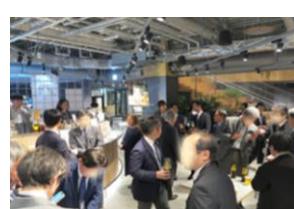
【会場の模様】



会場全景



WG パネル展示



交流会